

令和 6 年度機能評価結果

地域がん診療連携拠点病院 伊那中央病院

<良好な事項>

- 患者サロンについて
患者サロンまほらのスペースが広く開放的であり、院内アクセスも良く、環境が整っている。
- 患者支援について
がん診断時からのサポートについて、全患者のカルテ・告知予定日等を前日に看護師等が確認・予習した上で、告知日当日に必ず看護師が立ち会う対応、取組みが素晴らしい。
- 化学療法サポートチームについて
化学療法について、翌日の症例を全て検討されている点、各診療科及び緩和ケアのカンファレンスに積極的に参加され、しっかり情報共有等が図られている点が素晴らしい。
- 放射線治療（定位照射）について
脳転移に対する定位照射を積極的に実施されており、対象患者に対してスムーズな対応が図られている。
- メディカルシミュレーションセンターについて
シミュレーションセンターの環境が素晴らしい。他病院もセンターを利用させていただけるような連携等の取組みや、若手医師への勧誘等を含め病院の魅力発信に繋がるような形での活用を期待したい。

<指定要件に係る事項>

- 緩和ケアチームの人員配置について
専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識等を有する常勤医及び精神症状の緩和に携わる専門的な知識等を有する常勤医の配置について、整備を検討いただきたい。

<指定要件を超えて検討を依頼する事項>

- ePRO (electronic Patient Reported Outcome) について
あくまで期待を込めてであるが、ePRO は全国的にも先進的な取組みであり、患者にとっても大変メリットがあると思われる。しかし、ePRO に参加できない患者に対しては、紙ベースによる 3 か月に 1 度のスクリーニング実施に留まっている。
がん医療の均てん化の観点からも、ePRO の参加、不参加により患者対応に差が生じぬよう、スクリーニングの頻度を上げていただく等の工夫について検討いただきたい。
- 院内がん登録情報の活用について
院内がん登録実務者 3 名のうち、2 名が中級認定者であり、がん登録数を考慮すると充実した体制であるため、QI 研究を含め、がん登録結果をフィードバック・活用できるような取組みを検討いただきたい。
- PET 検査装置の活用について
PET 検査装置の稼働率が 4 割程のため、上伊那地域の中核病院として病病連携等を更に進めていただき、患者のメリットとなるよう、院内のみでなく院外からの紹介等に向けても同装置を活用いただけるような仕組みづくりを検討いただきたい。